
あるチャットルームでの出来事

今谷次郎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あるチャットルームでの出来事

【Nコード】

N7844Q

【作者名】

今谷次郎

【あらすじ】

自他共に認めるオタクの男子高校一年生、ハンドルネームをS I o t hと言う。

自分では少しだけオタクと思っているが、周りからそうは見られていない男子高校一年生、ハンドルネームをハリネズミと言う。

一人だけ年上のお姉さん、ハンドルネームを先輩と言う。

この三人のたわいもない日常。

それは、あるチャットルームでの出来事。

一話完結の短編集です。

焼き芋屋さん

slothさんがログインしました。

ハリネズミ..

こんばんは。

先輩..

やあやあ、こんばんは。

sloth..

こんばんは。みんな居たんだ。

ハリネズミ..

僕等が既にログインしている事に、驚いているみたいだね。

それは、正しい表現としてはどうかと思うね。

いいかい？ 時計を見てみるんだ。何時を指している？

君が僕と同じ世界で生きているのなら、22時だと思う

そう、22時までslothがログインしていない。

これこそが異常な事態なんだよ。

sloth..

解ったよ。ウルサイ奴だな。俺が悪かった。

先輩..

おっと！ ハリちゃん。

君の気持ちはよく解るよ。私には、よく解るさね。

だから、今回は、私に免じて許しておくれよ。

今、タイピングしているステキな文章は、そっと削除してくれな

いかい？

ハリネズミ…

はぁ。先輩の頼みなら仕方ないですね。良かったな。Slot

h。いや、世界一の怠け者。

Slot h…

俺は怠け者じゃない。ナマケモノだ。画像検索してみろ。可愛いんだぞ！

まぁ、いいや。

それよりも、聞いてくれよ。

俺は、今しがた帰ってきたんだ。そして、帰り道で大変な事が起きた。

歩道を歩いていると、焼き芋屋さんの車が通ったんだよ。

録音なのか、運転手のおっちゃんが喋っているのかは解らない。だけど、妙な事を言ったんだ。

「焼き芋だよ。ふっくら美味しい焼き芋だよ。ぼそぼそ美味し

い焼き芋だよ」

ってな。おかしいだろう？

「ぼそぼそ美味しい」って変じゃないか？

ハリネズミ…

なるほど。

だけどね。君がどう疑問を感じたのか、詳しく説明するべきだね。

そもそも、君は「ぼそぼそ」って言う言葉の意味を正しく理解しているのかい？

Slot h…

ぼそぼそ喋る。だろ？

ハリネズミ..

実に嘆かわしい。それは、言葉の意味の説明としてどうなんだろう？

自分では何も思わないのかい？

そうやって、最近の若者は言葉の意味を抽象的にしか捉えていない。

時間をあげるよ。辞書で調べてきてごらん。

sloth..

おお・・・。ところで、お前は意味がわかるのか？

ハリネズミ..

当然さ。君と一緒にしないでくれよ。

いいかい？

そうだな。君の例えの場合の意味としては、「小さな声で話す」と言う意味だね。

そして、焼き芋屋さんは、焼き芋を指して使ったんだよね？

この場合は、「水分が抜けて美味しく無い」と言う意味として使われたと考えられる。

sloth..

そうか。お前は便利な奴だよ。

ハリネズミ..

まさか、調べなかったのかい？

sloth..

まあ、今はそんなことは問題じゃない。だろ？

お前の説明で、食べ物にも「ぼそぼそ」という言葉が使われると

言う事は解った。

だけど、やっぱり「美味しくない」という意味があるんだろう？
おかしいじゃないか！

ハリネズミ..

そうだね。少しおかしいかもしれない。

だけど、「ぼそぼそ」と言うのはロシア語が起源なんだ。
ボソミーレボソーヤ。

これには、甘くてふつくらという意味もあるんだよ。

sloth..

そうなんだ。それなら、納得できるかもしれない。

ハリネズミ..

もちろん、ロシア語が起源なんて大嘘だけどね。

sloth..

この野郎……。

ハリネズミ..

悪く思うな。辞書で調べなかった君が悪い。

そして、僕は前言を撤回すべきだね。

多少、曲解してでも相手の伝えたい事を理解してあげるべきなんだ。

つまり、水分が無い方が焼き芋は美味しくなる。

こう言うことなんだよ。

sloth..

そうなのかな？

でも、俺は焼き芋の研究なんてした事は無いしな。

うん。

いや駄目だ。やっぱり、納得しかねるんだよ。

先輩はどう思う？

先輩..

そうだね。ハリちゃんの言う通りかもしれないね。

でも、そうじゃないかも知れないよ？

slot君。君は、何か大事な情報を伝え忘れているんじゃないのかい？

例えば、周りがウルサくて良く聞こえなかったとか。

slot..

ああ。言われてみれば、その焼き芋屋さんさ。

凄い音割れしているスピーカーを使っていたわ。

ハリネズミ..

君という男は。

いつもいつもね。どうして、大事な情報を省略するんだ。

大した問題じゃないとは言え、君からの相談だと理解しているのかい？

いいかい？

僕等は、君の言葉からしか情報を得られないんだ。

君のその性格のせいで、何回、無駄な時間と労力を費やした事か.....。

slot..

悪かったな。

だけど、お前はそれが無くても、無駄に疲れる生き方をしていると思うね。俺は。

ハリネズミ..

君という男は、嫌味で終わらせないと気がすまないのかい？
まあ、四ヶ月も大人な、僕が引き下がろうか。

その情報を加味すると、答えはもつと簡単だろ？
いいかい？

「ほくほく美味しい焼き芋だよ」

あるいは、「ほかほか美味しい」でも良いね。

ただの、君の聞き間違いさ。

sloth..

うーん。やっぱり、納得しかねるな。

先輩..

そうだね。

おじさんは、水分の少ない焼き芋に自信があったのかもしれない。

sloth君の聞き間違いかもしれないね。

だけど、今日sloth君が話したって事は。

その焼き芋屋さんは、普段見かけないんだろ？

確かめようの無い事実なんて、都合よく解釈してしまえばいいさ
ね！

特に今回のような時はね。

sloth..

そうだね。解らない事は前向きに考えないと！

先輩..

そうさね。人生はポジティブにね！

ハリネズミ..

そうかもしれないね。

s l o t h ..

そうだ。俺は、きっとクラスの女子からモテモテに違いない。
彼女達の気持ちは解らないから、前向きに考えてみた。
そうだったんだ。

俺はクラスのアイドルだ！

なんか、こう考えると学校も楽しくなるな！
そう言えば、そろそろバレンタインだ。
いやゝ、モテル男は辛いよ、ってか。

ハリネズミ..

君は本当に馬鹿だ。

先輩..

いやいや、それでも良いさ。

それで、学校が楽しくなるなら良いかもしれないね。
勘違いして行動に移す。そして、現実と言うものを知る。
うん。それも大事だよ。

s l o t h ..

悪かったよ。そんなに責めるなよゝ。

先輩..

うふふ。責めてなんかいないさ。
ただ、やっぱり何事も程々にだね。

バレンタイン

ハリネズミさんがログインしました。

ハリネズミ..

こんばんは

sloth..

こんばんは

ハリネズミ << sloth..

ところで、今日はバレンタインだね。君はチョコを貰う事ができたかい？

sloth << ハリネズミ..

なんで、インスタントメッセージで送って来るんだよ？

それに、質問する前に、お前の回答をよこすのが普通だろ？

ハリネズミ << sloth..

最初の質問の答えは、先輩が常時パソコンを起動しログインしているからだね。

そして、最後の質問の答えは、もらっていないだよ。

まあ、僕は工業高校だしね。女子の絶対数が少ないんだ。

sloth << ハリネズミ..

それは言い訳だろ。

我ら北海道民を熱くさせた、数年前の甲子園を思い出せ。

マー君は学校以外の女子からも、数百単位でチョコを貰っていると思うね。

ハリネズミ << sloth..

君の例えは、いつだっておかしい。

例にするなら、せめて工業高校出身の人物にするべきだ。

それに、いまや道民だけでない。日本全国にその名を轟かす彼を出してくるのは愚かとしか言いようが無いね。

いいかい？

君の例えは、『美味しい卵焼きの作り方』の話をしているのに、『一流パティシエの細工菓子』を例えに出しているようなものだよ。

sloth << ハリネズミ..

解ったよ。ウルサイ奴だな。

そうだ。俺は1つ貰ったぞ。

ハリネズミ << sloth..

そうだったね。君は1つのチョコを貰う可能性は高かった。

僕とした事が、そんな事にも気づかなかったなんて……。

sloth << ハリネズミ..

引かかる言い方だな。

言っておくが、親からじゃないぞ。

ハリネズミ << sloth..

解っているよ。彼女からだろ。

ああ、腹立たしい事この上ない。

でも、所詮は0と1。

先ほど、君が例に出したマー君は、今年も千単位で貰うだろうね。そう考えると、0と1なんて誤差のレベルだと思わないかい？

s l o t h << ハリネズミ..

その理屈は、お前らしくも無いな。

1と0の差は確かに少ない。

だけど、有と無の差は果てしなく大きいんだよ！

ハリネズミ << s l o t h ..

そうだ。僕らしくも無いね。

いかんせん、動揺しているのかもしれない。

僕が貰っていないのに、まさか君が貰っているなんて……。

s l o t h << ハリネズミ..

はははは！

今日は、お前にけなされてもなんとも思わないね。

俺の勝利だ！

まあ、落ち込むな。

俺らには先輩がいるじゃないか！

ハリネズミ << s l o t h ..

そうだ。僕がわざわざインスタントメッセージを送った理由。

それは、先輩の前で自然に振舞って欲しいからなんだ。

思春期の僕らが、チョコにがめついのは、みつともないだろう？

s l o t h << ハリネズミ..

珍しく気があったな。

解った。自然に振舞うよ。

2時間後。

先輩..

やあやあ。ただいまさね！

ハリネズミ..

おかえり

sloth..

お仕事お疲れさま。

先輩..

いやゝ。今日はバレンタインだったんだね。
役得かねゝ。

私は、女なのに一杯貰ってしまったよ。
君らはどうだったい？

sloth..

そうか。今日はバレンタインだったんだ。
普通の月曜日だと思っていたなゝ。

ハリネズミ..

そうだね。

僕たちも16才だ。

大昔から続く、お菓子屋さんの戦略に踊らされるのを良しとしな
いのですよ。

思春期って言うのは、大人の情報操作に不満を覚える年頃でもあ
るのです。

そもそも、バレンタインを商売にするなんて如何わしいと思いま
す。

国の権力に逆らい沢山の夫婦を送り出したとされている、ウアレ
ンティヌスさんへの冒瀆です。

先輩..

そうか。残念だね。

せつかく2人にチヨコを用意したのに……。

先輩…

あ、とりあえずお風呂と晩御飯を済ましてくるさね。
席をはずよ。

ハリネズミ…

ゴメンなさい。強がりました。

sloth…

捨てるぐらいなら、俺たちが処分するよ？

sloth…

返事が無い。ただの屍のようだ。

ハリネズミ…

せつかくのチャンスに、どうして君は強がるんだい？

sloth…

ウルサイな。お前の提案だろ？

それに、先輩がチヨコを渡しにくくなったのは、お前の長ったら
しい講釈のせいだと思うね。

ハリネズミ…

思春期とは、なんて不便な生き物なんだろう……。

sloth…

俺は、一つ貰ったからいいもんね。

やゝい。バカあほマヌケ！

ハリネズミ..

よしてくれ。僕は君に付き合えないほど落ち込んでいるんだ。

sloth..

自業自得だな！

ハリネズミ..

おや。客人が来たみたいだ。
少し失礼するよ。

sloth..

おお。いつてらっしゃい。

ハリネズミ..

やあ。ただいま。

sloth..

おかえり。

ハリネズミ..

突然なんだが、好きなおかずを最初に食べる人と最後に食べる人。
どちらが、普遍的な価値観なのだろうか？

sloth..

なんだよ。本当に突然だな。

俺が世間一般の価値観なんて、調べる術も無いのは承知だろう？
とりあえず、俺は好きなおかずは最後に食べるけど。

ハリネズミ..

そうだよね。
僕もそうだ。

sloth..
なんだよ。訳が解らない奴だな。
あ、俺の所にも客人だ。
少し待っててくれ。

ハリネズミ..
ああ。了解したよ。

sloth..
ただいま、っと。
先輩だった。
チョコゲットだぜ！

ハリネズミ..
僕も先ほど貰ったんだ。
だけど、やっぱり楽しみは後に残すよね。
先輩にとっての僕の価値は、君みたいな重度のオタクよりも低い
のではないだろうか？

sloth..
軽くカチンと来る事を平気で言う奴だな。
まあ、今日は勝者な俺が優しくしてあげよう。
単純に考えてみるよ。
先輩の家から見ると、お前の方が近い。
それだけだよ。

ハリネズミ..
..

そうだよ。僕が君なんかには負けるはずが無いさ。
どうも、今日は調子がおかしいな。

s l o t h ..

ははは！

哀れな負け犬よ。今日は、いくら吠えても許してやるよ。

ハリネズミ..

それにしても、先輩は意地悪が好きだね。

s l o t h ..

本当に、今日のお前はおかしいな。

そのセリフこそ、インスタントメッセージで話すべきだったと思うね。

ハリネズミ..

いやいや。悪い意味じゃないんだ。

先輩のサプライズは、いつだって喜ばしい。

そう思わないかい？

今日だってそうだ。

僕達ほどの幸せ者はいないと思うね。

s l o t h ..

そうだな。

先輩ほどの美人からチョコをもらえるなんて、俺たちは幸せものだ。

俺のおっかない彼女のチョコなんて、俺以外の奴は欲しがらないだろうにな。

ハリネズミ..

ふふふ。

失言だね。それは失言なんだよ。
今の発言を待っていたんだ。

君の愛しい彼女に、写メールで送ったよ。
ささやかな復讐を受け取りたまえ。

s l o t h ..

お前！

何てことしたんだよ……。
本当に怖いんだぞ……。

ハリネズミ..

それも、解っているよ。

だからこそ意味があるんだ。

でも、安心してくれないか。

君たちの関係には何の影響も無いはずだ。
ただ、ちょっとした雷が落ちるだけだよ。

s l o t h ..

お前は何か解っちゃいない。

確かに、俺たちの関係は揺るがない。強い信頼で結ばれているか
らな。

だけど……。

どうしよう。

しばらく学校休もうかな。

ああ、明日が怖い……。

ハリネズミ..

いや。なんか、ゴメンよ……。

まさか、君たちの力関係の差が、それほど大きいとは予想外だっ

たんだ。

s l o t h ..

もう良いよ……。

ん！

ハリネズミ…

だからね。僕はこう思うのさ。

インターネットが、人の心に及ぼした影響は計り知れないとね。

sloth…

そうだな。

ところで、俺は思ったんだ。

『佐々木ん』、つまりは『ササキン』な。

ササキンってさ、強くてカッコイイけど悪者のイメージがしない？

『田中ん』は物理的に硬いイメージがするよな。あ、でも正義の味方タナカン！ って感じもするかも。

今度は、『大田ん』、つまりはオオタンってさ。

可愛いイメージがするだろう？

人の苗字に『ん』をつけると、イメージが変わるのって不思議じゃない？

ハリネズミ…

いつもいつも、急に話が変わるよね。

君は本当に人の話を聞いていたのだろうか？

まあ、いいさ。

それは簡単な事だよ。

slothが持っている語尾二文字のイメージに左右されているに過ぎないね。

昔から言うだろう？

終わりよければ全てよし、有終完美、なんてね。

人の頭が物事を認識するのに、『最後』と言うのは重要なウェイトを示しているんだ。

さあ、解決した事だし、さっきの話を続けようか？

sloth..

ふん。

そんなものかな？

駄目だ。

俺には納得できない。

ハリネズミ..

仕方が無いな。

そうだね。例えようか？

ササキンの例だと、『キン』を『菌』とslothは無意識化で認識しているんだろう。

だから、君は悪者のようなイメージを抱いた。

それと同時に、『キン』は戦闘中の擬音としても使われているからね。『カキン！』みたいにね。

そこから強そうと言うイメージを抱いた。

もう一度言うよ。

slothの持っているイメージに過ぎないんだよ。

逆に言えば、聞く人によって違うイメージを連想させるんだ。

オオタンの例なんか顕著だね。

ゝタンが可愛いなんてオタクの発想さ。

僕もオタクだから可愛いと思った。

だけだね。同時に、美味しそうってイメージを持ったよ。

牛タンのイメージからきているんだろうね。

sloth..

危ね！

納得しかける所だったぞ。

いいか、ハリネズミよ。

お前の理論は間違っている。

お前の話が合っているとすれば、オオタさんは、『お』『オ
タ』クってイメージになるはずだろ？

今日の今まで、俺はそんなことを思ったこと無いね。

俺が思いだせる限り、知り合いに三人の大田さんがいるのにだ。
こちらが一方的に知っている、太田さんを含めると、数え切れな
い数になるにも関わらずだ。

俺は一度も太田さんを『お』オタクと思って事が無い！

更に言うと、『ご大田』、つまりは『ゴオオタ』って人の名前の
ようなイメージを受ける。

語尾二文字は変わっていないのに、イメージが変わったぞ！
これはどういことなんだよ？

ハリネズミ…

なるほど。

人の心はいつだって矛盾だらけさ。

『善は急げ』と言いつつ、『急がば回れと言う』
こう例えても良いね。

『一石二鳥』と言いつつ、『二兎を追うもの一兎を得ず』なんてね。
君にも経験があるはずだ。

「ラッキー！ 一石二鳥だ」と思ったことも、「欲張るんじゃないか
った」も思ったこともね。

だからこそ、人の心は面白いんだろうね。

sl o t h ..

答えになって無いぞ！

ゴオオタ君はどう説明する？

ハリネズミ…

しかし、矛盾って言葉は凄いと思わないかい？

矛と盾。武具を二つ並べるだけで、辻褄が合わないって意味になるんだから。

s l o t h ..

だから！

ゴオオタ君は？

二時間後。

ハリネズミ..

矛盾と言う言葉の起源までさかのぼろうか。

あれは古代中国の話だね。

絶対に貫ける矛。

絶対に貫かれない盾。

この二つを売っている商人の話なんだ。

お客さんの「じゃあ、その矛でその盾を貫いたらどうなる？」と

言う言葉に、商人は困ってしまうんだね。

これについては色々な人が様々な見解を言っているね。

矛も盾も両者とも壊れる、なんて言うのが多いんじゃないかな。

あ、大事なのは、その見解ではなくてだね、この言葉、『矛盾』

と言う言葉が人々の心を惹きつけていることが大事だと思うんだ。

s l o t h ..

もう、矛盾講義は良い。

認めるよ。

ゴオオタ君はわかりませんでしたってな。

ハリネズミ..

はい。ゴメンなさい。

sloth..
素直で宜しい！

ハリネズミ..

人の苗字と「ん」の話だって、君のどうしようもない思い付きから始まり、君は何の見解も発表していない。

ちよつと不満を覚えるのだけど、僕が話を誤魔化そうしたのは、隠し様の無い事実だ。

素直に認めるよ。

sloth..
おお！

気にするな！

それよりさ、お前もオタクならわかるだろ？

矛盾の話を否定しようと頑張った事あるよな？

オタクは捻くれているもんな！

ハリネズミ..

本当に、君は変な事を言うね。

オタクなんて、趣味を示す言葉に、人の性格を関連付ける事はナシセンスなんだよ。

現に僕は素直だ。

でも、slothは捻くれている。

ほら、もう矛盾が発生しているだろう？

ただ、君の言う事はわかるよ。

僕も矛盾の話については、何度も考えた事がある。

sloth..
謝った直後に嫌味かよ！

まあ、いいや。

俺はこうして、矛盾の話を解決したね。

盾は絶対に貫かれない盾だ。これは間違いない。

しかし、矛は絶対に貫ける矛だ。これも間違いない。

ただ、矛に関しては言葉が足りなかったんだ。

どんな物質も貫ける矛なんじゃない。

全ての物体を無視して、人体だけを傷付ける、魔法の矛だったのさ！

ほらな？

ハリネズミ…

なるほど。

オタクの君らしい発想だ。

だけど、それは僕は受け入れられない。

魔法の矛の発想が悪いんじゃない。

ファンタジー的な発想が悪いんだ。

古代中国の話って言っただろ。

そんな発想では、この素晴らしいテーマ『矛盾』を考えてくれた、

か韓非さんに失礼だ。

僕はこう結論付けたね。

聞きたい？

s l o t h ..

割とどうでも良いかも。

お前の聞き方が嫌らしい！

でも、どうせ言うんだろ？

もったいぶらずに、早く言えよ。

ハリネズミ…

いいかい？

絶対に貫けない盾は、物質として存在していなかったんだ。

そう。

人の心の中にあるんだよ。

人の信念は、暴力に屈しないのさ。

この身が減びようともね！

sloth..

今日は疲れたから、寝るわ。

おやすみ。

slothさんがログアウトしました。

ハリネズミ..

スルーかよ！

先輩..

やあ、こんばんは。

何をスルーされたんだい？

ハリネズミ..

こんばんは。

先輩、やめて下さい！

見ないで下さい。

時間が経つと、僕の心の中に『恥辱』が急速に埋め立てられていくんです。

不覚でした……。

先輩..

そうかい？

わかった。

どんな可愛いことが書いてあっても、私の心の中だけで満足する

よ。

ハリネズミ…

結局ログをたどるのですね。

僕の心は今満たされました。恥辱によって……。

先輩…

ゴメンよう。

でも、止められないのさ。

もう一つ謝らなくてはいけないね。

何を書いてあっても、口を出さないつもりだったんだけど……。

ハリちゃんの説には一つ問題があるよ。

商人は『心の盾』は売れないのさ！

ハリネズミ…

僕の心は容量オーバーで決壊しました。

先輩…

あはは！

ついでだから、約束を全部破ってしまおうよ。

ハリちゃんはやっぱり可愛いね！

二年生？ あれ？ 一年生？

先輩..

やあやあ、ただいまさね。

こんばんは。

ハリネズミ..

こんばんは。

sloth..

おかえり！

ハリネズミ..

さて、全員揃った事だし……。

僕の話聞いて欲しいんだ。

sloth。今日は何月何日だい？

sloth..

は？

なんだ？

俺がカレンダーの読み方を間違っている、なんて話でもする気か？
三月二十九日だろ？

ハリネズミ..

そう。

今日は、三月二十九日なんだ。

この時期になると、僕は考えてしまう。
怖いよね。

sloth..
なんでだよ？

ハリネズミ..
わからないのかい？
良く考えてみるんだ。

sloth..
またかよ。
もったいぶらずに、さっさと話せ！

ハリネズミ..
いいかい？

これは、一九九四年にウソ・ツツキー博士が発表した論文の話だよ。

この論文は、物理法則や時間軸を無視した現象、つまりは奇跡と呼ばれる現象の考察から始まるんだ。

何故、そのような現象が起こりえるのか？ とね。

そして、シンクロシティ、つまりは『偶然の一致』の考察に続くんだ。

そんなにも、偶然が起こるのは何故か？ とね。

最後に、複数の作者、あるいは単数の作者、などの可能性を示し、こう結論付けているんだ。

我々の住む世界は、誰かに作られた世界ではないのだろうか？
とね。

これで、僕が恐怖している理由がわかっただろう？

sloth..
わかんねーよ！

俺にわかったのは『俺たちって、誰かの創作物語？』って事だけ

だ。

ハリネズミ…

それで良いよ。

君にもわかるように、更に説明しようか。

僕たちは高校生だ。

そして、学生の創作物語は、大きく二つに分類される。

一つは非現実的な設定が濃い作品。もう一つは、現実にもありそうな設定の作品。

更に、別の見方でも、二つに分けられるんだ。

一つは、日曜夕方のアニメのような、ある期間内をループする話だ。

僕たちに言い換えると、永遠の高校一年生だね。

もう一つは、スポーツマンガに多いかな。

現実世界と連動するかは別として、物語の中でも時間が進むタイプだよ。

ああ、恐ろしい。

s l o t h ..

だから、もったいぶるな。

お前は、いつもいつも前置きが長い！

何が言いたいんだよ。

ハリネズミ…

まだ、わからないのかい？

僕たちは、高校二年生になれるのだろうか？

気付かないうちに、『入学式を楽しみにする新入生』になってしまっているのか？

と思うと怖く無いかい？

そう考えると、毎日行っている『寝る』なんて行為が、恐ろしく

思ってしまう。

いや、寝る必要すらないのかもしれない。

ある瞬間に、僕の記憶と認識が、書き換えられるのかもしれないね？ 年度の切り替えである、この時期は、特に怪しいと思うんだ。

sl o t h ..

お前は、本当に面倒臭い奴だな。

そんな事ばかり考えているから、『萌え』が理解できないんだ。もっと、気楽に構えないと、人生楽しく無いぞ！

それよりさ、『お茶碗』って不思議じゃない？

ご飯を食べる目的で使われる食器なのに、なんで『お茶』って言葉が使われるんだろうな？

ハリネズミ…

また、君は直ぐに脱線する。

いいかい？

良く考えてみるんだ。

卒業アルバムを見ないで、小学生のクラスメイトを全員思い出せるかい？

あるいは、去年の……。そうだな、十月二十五日に、自分が何をしていたかを、直ぐには思い出せないだろう？

僕が『卒業アルバムを見る』と言う行動を起こした時点で、僕の過去が作られているのかもしれない。

僕が過去を思い出そうとする事で、初めて、僕の過去が作られているかもしれない。

そもそもだ。

僕が、『高校一年生をループする』なんて考えて、君に説明する行為自体が、作者の思惑なのかもしれない。

読者、視聴者、プレイヤー……。

どういった形式かはわからないけど、とにかく観察者に対し、物語の説明をしている可能性がある。

『僕たちの物語は、ずっと高校一年生だよ』ってね。

そう思うと、ウソ・ツツキー博士の論文は、間違っていないと思うんだ。

更に、ループするだけならいい。

僕自身が、その現象を体感できないのなら、大した恐怖は無いさ。でも、何かの手違いで、僕だけループしている事に気が付いてしまったら？

その恐怖は、計り知れないと思わないかい？

s l o t h ..

そうだな。

それよりさ、『湯のみ』には『お茶』って言葉を使わないのが、もっと不思議だ。

先輩..

やあ、ただいま。

何の話をしているんだい？

ハリネズミ..

おかえりなさい。

s l o t h ..

え？

先輩、さっき挨拶しなかったけ？

今、ハリネズミの『この世界は創作物語説かもね』って講義が終わった所だよ。

先輩..

sloth君は、変な子だね。
私は、今帰ってきたとこさね。

ハリネズミ..
全くだ。

君は寝ぼけているんじゃないのか？
君が「ゲームする」と言っただから、僕たちは何も会話していなかったじゃないか？

sloth..
はあ？

ログをたどってみろよ。
お前の長ったらしい講釈で、一杯だから。

ハリネズミ..
だから、何も会話していなかったよ。
君は、可笑しい人だね。

先輩..
まあまあ、喧嘩はおよしさ。
それより、もう直ぐ、二人は入学式だね。
高校の制服は、買ったかい？

ハリネズミ..
ええ。
買いましたよ！

sloth..
いや、俺たちはもう直ぐ二年生になるはずだって……。入学式は
去年やったはず……。

ちよつと、まって。
席はずす。

ハリネズミ..
いってらっしゃい。

先輩..
了解さね！

sloth..
ただいま。

親に聞いてきても、入学式がなんちゃらって……。
ドッキリだよな？

俺を騙そうとしているんだろ？
そう言ってくれよ！

ハリネズミ..
さつきから、君は何の話をしているんだい？

先輩..
sloth君。
落ち着きなよ。

人の記憶って言うのは曖昧さね。
夢と現実の区別を、混合してしまう時ってあるんだね。
きっと君は、ゲームをしながら、ウトウトと居眠りしてたのか
も知らないよ？

sloth..
夢……。
そういうことか！

夢落ちかよ！

それじゃ、俺は起きるために寝るわ。

バイバイ。夢の中の住人たち。

ハリネズミ..

良くわからないけど、君は疲れているのかもしれない。

そういう時は、寝るのが良いよ。

おやすみなさい。

先輩..

お大事に。

おやすみさね！

sloth..

止めろよ。

リアルに挨拶返すなよ。

夢の中の住人な癖に。

おやすみなさい……。

slothさんがログアウトしました。

先輩..

いやゝ。ビックリするほど成功したねゝ。

ハリネズミ..

はい。ドツキリの協力ありがとうございました。

こうしないと……。

『五月蠅いな。バカだな。面倒臭い奴だな。それよりさ、スーパーマーケットを略してスーパーって変じゃない？ マーケットの方が意味として大事なのに』

なんて脱線する、slothの態度は見えていましたからね。

しかし、まだ問題提示しかしてなかったのに……。

僕の話は終わったと言い出すなんて、slothは腹立たしい奴です。

先輩…

まあまあ、続きは私が聞くさね！

それにしても、良く騙されてくれたね。

ハリネズミ…

slothの交友関係は狭いですからね。

両親、友達、その他。

口裏合わせは完璧です。

先輩…

でも、新聞とかテレビを見られたらアウトさね。

ハリネズミ…

それも大丈夫です。

あいつは、新聞なんか見ない男ですから。テレビだってアニメばかり見る男ですよ。

この時間は、slothの興味ありそうなアニメも終わっていますね。

何より、アイツは臆病な男ですからね。冷静でいられる訳がありません。

先輩…

ハリちゃんは意地悪だね。

ハリネズミ…

先輩ですよ。

随分とノリノリでしたね。

先輩..

sloth君は、可愛い反応するからね！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7844q/>

あるチャットルームでの出来事

2011年4月18日22時10分発行